

「みんなでつくる情報通信白書コンテスト」表紙絵部門受賞者

最優秀賞（表紙絵）



加藤 マリさん
香川県立高松工芸高等学校
デザイン科 2年（当時）
香川県高松市

コメント

パソコンやラジオ、ケイタイなどで世界中のどんな人でも知り合いになれ、仲よくなれることを伝えたくて書きました。パソコンで民族衣装を調べて国のカラーが強いものにしました。

優秀賞（裏表紙）



杖谷 美彩さん
鹿児島県指宿市立南指宿中学校
2年（当時）
鹿児島県指宿市

コメント

田舎のおじいちゃんとおばあちゃんが農作業の休憩中に携帯で孫たちとテレビ電話をしているところです。

佳作（中表紙）



小原 優汰さん
岡山県倉敷市立豊洲小学校
6年（当時）
岡山県倉敷市



コメント

ITで世界はつながる



白石 袈裟夫さん
無職
東京都北区

コメント

情報通信の発展と未来像。デジタルで広がる人のつながりを情報通信分野についての関心を高めるとともに、新たな生活環境や未来の姿を幅広く一般の生活者にも理解され分かりやすく伝える姿で表現し制作意図と致します。



神内 美里さん
香川県立高松工芸高等学校（当時）
香川県高松市



コメント

デジタルで人と人がつながっている、ということ表現するために、全一本の線でつながっている構成にしました。また、線の太さや手の大きさを変えて、一本の線でも遠近感がでるよう工夫しました。



峰岸 美和さん
群馬県高崎市立箕郷中学校
2年（当時）
群馬県高崎市



コメント

遠くにいても身近にいるようなかんじ。メールや電話で元気づけられたり勇気づけられたり……どんなときでも人とつながってられるそんなしあわせいっぱい絵です。

※学校及び学年は応募当時のもの